

酪農家の皆様へ

生産性向上による経営体質の強化を図るために

～飼養管理チェック表とポイント～

はじめに

配合飼料価格の高騰等により生産費が増加している今日、生産技術の向上により低コスト化を図ることが重要です。生産者の皆さんがこれまで取り組んでこられた生産性向上対策について、もう一度内容を確認し、より一層の改善に努めましょう！

生産指標

生産性向上を図るための指標として、次のものがあげられますので、自己の経営を把握しながら十分な飼養管理を行い、生産効率の向上による経営の安定化を図りましょう。

主な生産指標	全 体	所得下位 20%	所得中位 60%	所得上位 20%
1頭当たり年間産乳量 (kg)	8,821	8,675	8,755	9,137
平均分娩間隔 (日)	438	456	435	426
受胎に要した種付回数 (回)	2.2	2.4	2.2	2.2
乳飼比 (%)	49.2	54.3	48.6	47.4

※乳飼比＝購入飼料費／乳代×100

先進経営調査（中央畜産会調べ）

<参考>牛群検定成績（栃木県）

主な生産指標	H24年度平均	目 標
1頭当たり年間産乳量 (kg)	9,459	—
平均分娩間隔 (日)	453	380
受胎に要した種付回数 (回)	2.4	1.6

生産性向上のポイント

生産性の向上は、多くの要因について総合的に対応することが必要です。もう一度以下のポイントについて見直しなどを行い、より効率的な生産を目指してください。

生産性向上対策	①乳量等に応じた飼料給与 ②乳房炎の早期発見・治療 ③牛舎環境の改善
繁殖成績向上対策	①発情の見落としを減らす ②受胎率の向上 ③分娩事故・周産期病防止
飼料費削減対策	①過不足ない飼料給与 ②自給飼料を最大限に活用 ③飼料メニューを再確認し、飼料費低減

飼養管理チェック表（乳用牛）

No. 1

（１）生産性向上対策

1頭あたりの乳房炎による乳代等の損失は、年間7万円にも上ることから、乳房炎予防対策の徹底は生産性向上を図るために非常に重要です。

そのためにはCheck！

ア 乳房炎防除について	評価	備考
ミルカーの適正使用を図り、感染・発病を抑制していますか （点検整備、衛生管理等の徹底）		
乳房の洗浄は適正ですか （洗浄バケツ分離、1頭1布、手袋着用、洗い方等）		
前搾りをしていますか （ストリップカップの使用、異常乳の早期発見）		
生乳の検査を実施していますか （細菌数、体細胞数等の確認）		
感染牛を早期発見し、治療していますか		
イ 牛舎環境の改善	評価	備考
飼養環境（飼養密度、温湿度指数、換気）は良好ですか		
清掃を毎日行っていますか （施設は清掃しやすいよう整理・整頓、定期的な衛生害虫の駆除）		
乾乳直後の牛と搾乳牛を別飼いにしていますか （乾乳直後はミルカー音がストレスや漏乳の原因に）		

（２）繁殖成績向上

分娩間隔の延長は、牛群1頭あたりの乳量に影響を及ぼすだけでなく、飼料費やその他の管理費等の増加を伴います。そのため、適切な分娩間隔を保つことにより大幅な増収が見込めます。（40頭規模、分娩間隔の遅延解消〔434日→395日〕の場合、約200万円の増収）**そのためにはCheck！**

ア 発情の把握	評価	備考
分娩後の発情回帰を把握していますか （発情観察：マーカ―装着状況、陰部状況、採食状況、乳量・行動の変化など）		
イ 受胎率の向上	評価	備考
人工授精記録を自分で把握していますか		
授精後60日前後で妊娠鑑定を行っていますか		
発情のない牛を早期に治療していますか		
ウ 分娩事故・周産期病の防止	評価	備考
乾乳期の飼養管理は適切ですか （ボディコンディショニングのチェック、加減給与量チェック等）		
分娩兆候をきちんと把握していますか （体温、乳房の張り、尾根部靭帯の落ち込み、採食状況など）		
分娩後の母牛の手当を適切に行っていますか （観察、栄養補給、後産処理等） （濃厚飼料増給：牛の状況を観察しながら2～3日で1kg増給）		
異常があった場合、獣医師の診療・指導を受けていますか		

注）評価欄〔実施：○、一部実施：△、未実施：×、該当なし：－〕

（3）飼料費削減対策

生産コストが高い酪農家と低い酪農家の飼料費を比較すると経産牛1頭あたりでは大きな差がありませんが、生乳1kgあたりでは、約2倍の差が見られ、コストが高い酪農家は能力の低い牛に必要以上の飼料を給与していることが考えられます。そのため、適正な飼料給与により生産コストの低減を図りましょう。**そのためにはCheck！**

ア 過不足ない飼料給与	評価	備考
個体ごと・牛群全体の乳量・乳質を把握し、飼料計算を行っていますか		
分離給与：粗飼料は朝夕同じ種類・量を給与していますか TMR給与：十分な量を、一日数回に分けて給与していますか （サイレージ等の2次発酵防止）		
飼料は、衛生的に保管・管理していますか		
月に1回は、飼料給与量の見直しを行っていますか		
イ 自給飼料の活用	評価	備考
認定品種などの地域に適した草種、品種を作付していますか		
飼料作物の収量を向上させていますか （適期に播種、収穫を実施） （雑草防除や肥培管理の実施）		
収穫・調製した自給飼料を成分分析し、給与に活かしていますか		
ウ 飼料費低減	評価	備考
飼料計算をするときに飼料費も計算していますか （購入飼料の単価、TDN単価を把握）		
飼料費の検討をしていますか （栄養レベルを維持し、飼料設計を変更）		

（4）経営管理技術

経営の目標を明確にし、それに向けた課題解決を行っていくことが、家畜の生産性向上や生産コストの低減などにつながります。

例えば、牛群検定を受けている雌牛と受けていない雌牛の乳量の差はおよそ1,400kgにもなっており、経産牛40頭規模の乳代では年間約530万円の差になります。

そのためにはCheck！

ア 経営目標の設定と実践	評価	備考
牛群検定成績を十分に活用していますか		
適切な計画をたて、目標値のチェック、改善を行っていますか （乳量、乳質、体細胞数、分娩間隔、種雄牛（精液）交配、飼料作、受精卵移植を活用した和牛子牛生産等）		
イ 記帳とその活用	評価	備考
必要な記帳を実施・分析し、経営改善に役立っていますか （生乳生産管理チェックシート、繁殖記録、飼料の購入台帳、投下労働時間、金銭出納帳等）		

注）評価欄〔実施：○、一部実施：△、未実施：×、該当なし：－〕

評価が△や×の項目は、○を目指して改善を進めましょう！